

**甲南大学
甲南大学大学院**

ホームページ <http://www.konan-u.ac.jp>

◎岡本キャンパス
〒658-8501 兵庫県神戸市東灘区岡本8-9-1
TEL. (078) 431-4341 (大代表)

◎西宮キャンパス
〒663-8204 兵庫県西宮市高松町8-33
TEL. (0798) 63-5741

◎ポートアイランドキャンパス
〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町7-1-20
TEL. (078) 303-1457

甲南高等学校・中学校
〒659-0096 兵庫県芦屋市山手町31-3
TEL. (0797) 31-0551 (代表)
ホームページ <http://www.konan.ed.jp>

甲南大学ネットワークキャンパス東京
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12
サピアタワー10F
TEL. (03) 6266-9520
ホームページ <http://www.konan-u.ac.jp/tokyo/>

**ウェブサイトによる
「教育情報」の公開について**

本学では、平成23年4月1日に施行された「学校教育法施行規則等の一部を改正する省令」に伴い、ウェブサイトにて積極的に「教育情報」を公開しています。甲南大学ホームページの「公開情報」をご覧ください。

個性を力へ。

KONAN

平成27年度 事業報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで



甲南大学、甲南高等学校・中学校を設置する甲南学園は、大正8(1919)年の旧制甲南中学校の開設にさかのぼります。甲南を支える大きな精神的支柱である創立者の平生飢三郎先生は、

本校ハ学校教育ノ現状ニ満足セザル有志ノ者共ガ集マツテ、知育偏重ノ弊ヲ避ケ、「人格ノ修養」「健康ノ増進」ヲ第一義トシ、「個性ヲ尊重シテ天賦ノ特性ヲ啓発スベク、知的教育ヲ施サン」トノ主旨ヲ以テ創立イタシマシタ

高等学校第1回卒業式/大正15(1926)年

と述べています。

本学園は、今後も、この気概と品格ある平生精神をもとに、教育・研究の質を高め、本学園の社会的使命を達成することを目指しています。



学校法人甲南学園
理事長 **吉沢 英成**

甲南学園のあゆみ

個性尊重の理念を掲げて開学。90年余にわたり、その独自の教育を深め、確立してきました。



学園創立者
平生 飢三郎

平生飢三郎は、1866年武門に生まれ、東京海上火災保険をはじめとする損害保険業界の近代化に貢献、川崎造船所を再建するなど実業界で広く活躍しました。甲南病院の設立など社会事業にも深く関わり、政治においては、広田内閣の文部大臣として義務教育の年限延長、師範教育の改善を強く提唱しました。教育理念として、「人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重し、各人の天賦の特性を伸張させる」を掲げ、甲南中学校、さらに7年制の甲南高等学校を創立しました。

1918	財団法人甲南学園 私立甲南中学校設立認可	2001	理学部を理工学部に名称変更
1919	私立甲南中学校開校	2002	経済学部・経営学部EBA総合コースを開設(2013年廃止)
1923	7年制甲南高等学校開校	2003	先端生命工学研究所(FIBER)設置
1948	新制甲南高等学校に移行	2004	大学院法学研究科(法科大学院)増設
1951	甲南大学設置認可、甲南大学文学部、文理学部設置	2006	大学院ビジネス研究科(会計大学院)増設(2013年社会科学部研究科のもとへ移設)
1952	経済学部増設	2008	知能情報学部増設
1957	文理学部を文学部と理学部に分離	2009	マネジメント創造学部増設(西宮キャンパス新設) 先端生命工学研究所移設・フロンティアサイエンス学部・同研究科増設(ポートアイランドキャンパス新設) フランス甲南学園トゥレーヌ中等部開校
1960	法学部-経営学部増設	2013	フランス甲南学園トゥレーヌ高等部開校
1963	甲南高等学校・中学校が岡本から芦屋市に移転		
1964	大学院人文科学研究科、自然科学研究科設置		
1965	大学院社会科学部研究科増設		
1991	トゥレーヌ甲南学園(フランス甲南学園トゥレーヌに校名変更)高等部・中等部を開設		



CONTENTS

学校法人甲南学園/平成27年度事業報告書

はじめに	1	II 財務の概要	13	III 法人の概要	21
■ 甲南学園のあゆみ		■ 平成27年度決算の概要		■ 名称	
■ 甲南学園の構成		■ 資金収支決算の概要		■ 法人設立の年月日	
■ はじめに		■ 資金収支計算書(学園総括)		■ 設置学校	
平成27年度の主な取組	3	■ 活動区分資金収支計算書(学園総括)		■ 役員	
I 事業の概要	8	■ 繰越支払資金の流れ		■ 土地と建物	
■ 大学・大学院	8	■ 事業活動収支決算の概要		大学・大学院・高等学校・	
■ 高等学校・中学校	11	■ 事業活動収支決算書・構成比率(学園総括)		中学校基本データ	
■ 法人	12	■ 事業活動収支(旧:消費収支)決算の推移(学園総括)		■ 学位授与	
		■ 平成25年度~27年度決算の推移		■ 留学生数	
		■ 主な施設・設備の整備状況(学園全体)		■ 入学試験状況	
		■ 貸借対照表		■ 大学(学部学生)の就職状況	
		■ 財務状況の推移(学園総括)		■ 学生・生徒数	
		■ 財務比率の推移(学園総括)		■ 卒業生累計数	
				■ 専任教職員数	
				■ 事務組織図	



甲南学園の構成

設置する学校・研究科等(平成28年3月31日現在)

甲南大学・大学院

学部 学科	文学部	■ 日本語日本文学科 ■ 社会学科 ■ 歴史文化学科	■ 英語英米文学科 ■ 人間科学科
	理工学部	■ 物理学科 ■ 機能分子化学科	■ 生物学科
	経済学部	■ 経済学科	
	法学部	■ 法学科	
	経営学部	■ 経営学科	
	知能情報学部	■ 知能情報学科	
	マネジメント創造学部	■ マネジメント創造学科	
	フロンティアサイエンス学部	■ 生命化学科	
大学院	人文科学研究科	■ 修士課程 ■ 日本語日本文学専攻 ■ 英語英米文学専攻 ■ 応用社会学専攻 ■ 人間科学専攻	■ 博士後期課程 ■ 日本語日本文学専攻 ■ 英語英米文学専攻 ■ 応用社会学専攻 ■ 人間科学専攻
	自然科学研究科	■ 物理学専攻 ■ 化学専攻 ■ 生物学専攻 ■ 知能情報学専攻	■ 物理学専攻 ■ 生命・機能科学専攻 ■ 知能情報学専攻
	社会科学部研究科	■ 経済学専攻 ■ 経営学専攻 ■ 会計専門職専攻	■ 経営学専攻
	フロンティアサイエンス研究科	■ 生命化学専攻	■ 生命化学専攻

専門職 大学院	法学研究科	■ 法務専攻(法科大学院)
センター 研究所 図書館	■ 国際言語文化センター ■ キャリアセンター ■ 先端生命工学研究所 ■ 国際交流センター ■ フロンティア研究推進機構 ■ ビジネス・イノベーション研究所 ■ スポーツ・健康科学教育センター ■ 図書館	■ 教育学園支援センター ■ カウンセリングセンター ■ 総合研究所 ■ 共通教育センター ■ 教職教育センター ■ サイバーライブラリ ■ 人間科学研究科 ■ 統合ニューロバイオロジー研究所

甲南高等学校・中学校

平成27年度の主な取組

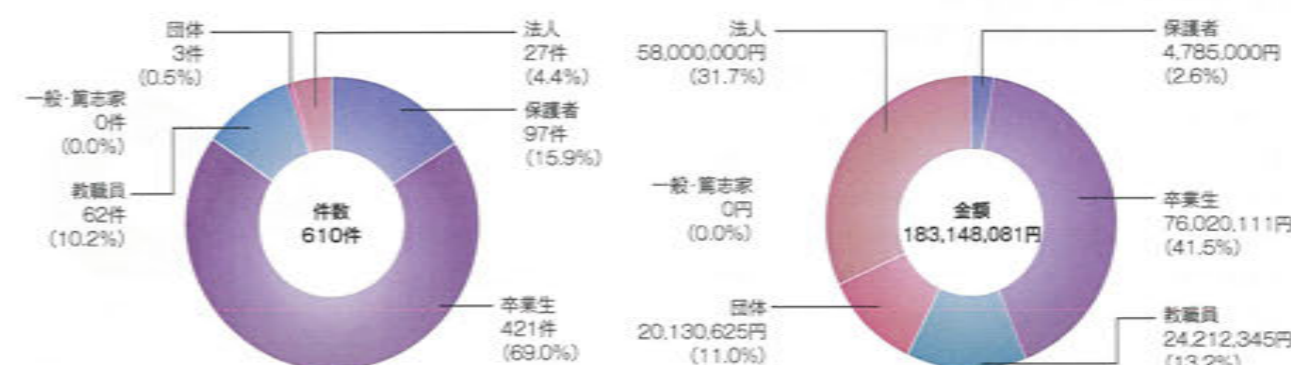
01 甲南学園創立100周年記念事業の計画策定と実施

平成31（2019）年の学園創立100周年を記念し、「Respectable KONAN of the World」の理念を掲げ、以下の記念事業を内容とした事業計画を策定し、各種の取組に着手しました。

- ・甲南新世紀KONAN Higher Quality教育（甲南新世紀教育の質の格段の向上へ向け）
- ・甲南学園創立100周年記念事業募金活動
- ・KONAN INFINITY COMMONS 建設
学友会館等を再開発し、甲南大学の人物教育を率先する要所として「アイコモンズ (iCommons)」を建設。
- ・甲南大学白川台キャンパス開設
神戸市須磨区東白川台に新たなセミナー・スポーツ施設（愛称「コスモスキャンパス」）を開設。
- ・甲南高等学校・中学校 100周年記念グローバル教育推進・教育環境整備事業
- ・100周年記念“わがくるま 星につなぐ”甲南の星 奨学金給付制度の創設
- ・学園創立100周年記念出版・展示企画



学園創立100周年記念ロゴマーク



02 学園創立100周年記念事業募金の始動

学園創立100周年記念募金委員会（委員長 小林豊 理事）を設置、新たにホームページを開設し10月より同募金活動を開始しました。また、各界144名の方々に発起人として賛同いただき、1月、大阪新阪急ホテルにおいて開催された「甲南学園創立100周年記念事業募金 発起人の集い」は、発起人、学園、大学、高等学校・中学校、同窓会関係者合わせ100名を超える参会者を得て、これからの募金活動に一層の拍車がかかりました。

■募金計画概要

●募金対象事業

- ①甲南新世紀教育の展開（学友会館等再開発を新しい教育機能で包むKONAN INFINITY COMMONS建設、「顔がわかる”少人数教育・キャリア創生共通教育・融合型グローバル教育などKONAN Higher Quality教育の確立）
- ②甲南大学白川台キャンパス セミナー・スポーツ施設（愛称「コスモスキャンパス」）拡充事業
- ③甲南高等学校・中学校 100周年記念グローバル教育推進・教育環境整備事業
- ④100周年記念“わがくるま 星につなぐ”甲南の星 奨学金給付事業

●事業規模 100億円

●募金目標額 20億円

●募金期間 平成27年10月1日～平成32年9月30日（5年間）

■100周年記念事業募金申込状況（平成28年3月31日現在）

	件数	件数比率	金額（円）	金額比率
保護者	97	15.9%	4,785,000	2.6%
卒業生	421	69.0%	76,020,111	41.5%
教職員	62	10.2%	24,212,345	13.2%
一般・篤志家	0	0.0%	0	0.0%
団体	3	0.5%	20,130,625	11.0%
法人	27	4.4%	58,000,000	31.7%
総合計	610	100%	183,148,081	100.0%

03 KONAN INFINITY COMMONS 開発計画の策定

学園創立100周年記念事業のひとつの柱であり、学園創立100周年記念基金対象事業のひとつでもあるKONAN INFINITY COMMONSの開発計画を策定し、平成28年度からの着工準備として、学生会館等岡本キャンパスの学生福利厚生エリアの6棟の解体を行っています。本計画では、新たに学生の「主体性・多様性・国際性・協働性」を育み「自立創生」を喚起・涵養するため、建学の精神に誇りつつ教職一体で学生の成長の触媒となり、学生が互いに切磋琢磨、相互研鑽に努める「場」となることを目的に、既存の機能に加え、パブリックスペース「Agora」や、講義やセミナー等が可視化される「Active-Interactiveスペース（仮称）」等を設け、甲南新世紀（甲南学園つぎの100年）につながる特長ある施設としていきます。

■各階構成

- （地下）駐車場、音楽練習室、ホール、課外活動倉庫
- （1階）食堂、レストラン、Agora
- （2階）学生部、医務室、コンビニ、フィットネスルーム、部室
- （3階）キャリアセンター、部室、Active-Interactiveスペース（仮称）
- （4階）スタジオ、書店、カフェ、アトリエ、和室、料理室



外観（東側より）



外観（南東側より）



食堂



パブリックスペース「Agora」

04 甲南大学白川台キャンパスの土地・建物の取得

甲南新世紀 KONAN Higher Quality 教育を着実に推進するため、学園創立100周年記念事業として、宿泊可能な校外施設を取得しました。Active-Interactiveキャンパスの充実を図るべく、平成28年度当初からの利用開始を目指し、既存建物の大幅な改修工事をを行いました。

■所在地 神戸市須磨区東白川台5丁目6番

■面積等 土地29,173㎡ 建物35,306.63㎡（体育館、大講義室、セミナー室、宿泊室、食堂等）

■想定される主な活動

- ・共通基礎演習、新入生研修、ゼミ合宿、学部における発表、環境教育、学生と外国人留学生との交流
- ・自治会、体育会、文化会主催の行事（高等学校・中学校の合宿等を含む）
- ・体育会（主に屋内競技団体）の練習・対外試合、文化会各クラブ活動
- ・地域貢献プロジェクト

05 甲南大学の教育改革

1. 甲南大学の教学新機軸の構築

甲南新世紀に向けて、本学の教育の特色を一層明確にするため、甲南らしさに根差した「圧倒的な教育力」の実現を目指して、教育改革会議のもとに教学新機軸構想作業部会を設置し、6つのタスクフォースを編成して教学新機軸の構築に取り組みました。①KONAN新世紀ビジョン策定タスクフォースは、各学部、センター等の新世紀ビジョンの提出を求め、平成28年度半ばを目標に大学全体の新世紀ビジョンの策定を目指します。②「顔がわかる」少人数教育推進タスクフォースでは、平成28年度の1年次生から授業科目の履修者数を150名以下（2年次以降は200名以下）にする体制を整備するとともに、学生証のICカード化による自動出席管理システムの導入を決定しました。③融合型グローバル教育推進タスクフォースでは、どの学部に入學してもグローバル教育を受けることのできる体制として、留学制度やカリキュラムの拡充、グローバル・ゾーン（Porte）の整備等に取り組みました。④アクティブラーニング推進タスクフォースでは、プロジェクト型学習などの能動的学習を本学の教育力の向上につなげる方策として実施しました。⑤地域連携・ボランティア教育推進タスクフォースでは、地域連携・ボランティアに関する機能を集約した新たな拠点として、平成28年度から地域連携センターをフロンティア研究推進機構から分離・独立（12号館1階）するとともに、ボランティア関係科目の充実を推進しました。⑥Active-Interactiveキャンパスの整備、魅力化タスクフォースでは、学園創立100周年を記念し、学生の自治活動・文化会活動等と教育をつなぐ「場」として、平成29年9月に竣工予定の「KONAN INFINITY COMMONS (iCommons)」の整備に関する検討を進めました。



KONAN INFINITY コミュニケーションマーク

また、各界で活躍されている卒業生で編成する教学アドバイザー・ボードを設立し、本学の魅力の向上に向けたディスカッション（平成27年7月、11月）などを行いました。平成28年度も活動を継続し、ここで得られた貴重な知見を各種改革に反映させていきます。

2. 教育改革アクションプランの展開

教学新機軸の構築に向けた基盤整備や先行する取組を積極的に展開するとともに、本学の魅力・特色をより顕著にし、学内外に力強く発信していくため、これまでに蓄積されてきた取組・検討の成果をもとに、これらを実践・発展する教育改革アクションプランを推進しました。

(1) KONANプレミア・プロジェクト

各学部・センター等の特色ある取組・計画を実践・可視化するとともに、これらを組織横断的に融合し、本学の新たな魅力を創出するためのチャレンジとして、42のサブプロジェクトからなる8つのメインプロジェクトを「KONANプレミア・プロジェクト」（別表）として編成し展開しました。

（別表）平成27年度 KONANプレミア・プロジェクト一覧表

名称	担当部局
A: KONAN 神戸連携プロジェクト	
1 大学都市KOBELI発信プロジェクトへの参画	フロンティア研究推進機構
2 神戸スイーツの研究活性化拠点	フロンティア研究推進機構、ビジネス・イノベーション研究所
B: KONAN スーパー人材育成プロジェクト	
1 甲南生塾	学長室
2 ビジネス・リーダー養成プログラム	経営学部
3 KONANサーティフィケート	学長室
4 言語・文化相互理解のためのアクティブスチューデント育成プラン	国際言語文化センター
5 「持続可能な教職キャリア」支援プロジェクト	教職教育センター
6 ビジネス・ローヤー育成	法科大学院
C: KONAN グローバル・バリエーション プロジェクト	
1 New海外留学ホップステップジャンプ・プログラム	国際交流センター
2 CUBE-ピッツバーグ大学連携サマースクール	マネジメント創造学部
3 英語集中コース充実プロジェクト	国際言語文化センター
4 KONAN Language LOFT	国際交流センター
5 ビジネス英語「BE」プログラム	経営学部
D: KONAN スポーツ元気プロジェクト	
1 KONANマリンパークマラソン	スポーツ・健康科学教育研究センター
2 スポーツ地域連携プロジェクト	スポーツ・健康科学教育研究センター
3 スポーツ環境推進プロジェクト	スポーツ・健康科学教育研究センター

4 こうなん歩こうなん	スポーツ・健康科学教育研究センター
5 KONANスポーツ応援プロジェクト	学生部、広報部、スポーツ・健康科学教育研究センター、スポーツ強化支援室
E: KONAN スチューデント・サポートプロジェクト	
1 We Love Studyプロジェクト	フロンティアサイエンス学部
2 スクーリング型入学前教育機関プログラム	学長室、理工学部
3 LA（ラーニング・アシスタント）制度	教育学習支援センター
4 障がい学生サポート拡充プロジェクト	学生部、学生相談室
5 サイエンス学修支援プログラム	理工学部
F: KONAN スマート・ラーニング プロジェクト	
1 ふんたすプロジェクト	文学部
2 KONANサイエンス実験プロジェクト（演習実験）	理工学部
3 プロジェクトゼミ	経済学部
4 経済学部教育活性化プロジェクト「集中して学べる授業」 「経済学部ベストレクチャー」「経済学部教育報告書」	経済学部
5 法学・政治学学修支援プロジェクト	法学部
6 KONAN ロボット学びプロジェクト	知能情報学部
7 We Love Booksプロジェクト	フロンティアサイエンス学部
8 KONAN3極ネットワーク授業（岡本、西宮、ポートアイランドキャンパス）	マネジメント創造学部
9 KONAN版ムーブ（MOOCs）—FIRSTアーカイブ（FIRST）—	教育学習支援センター
10 ICTを活用した先進的学習支援（BYOD・双方向授業等）	教育学習支援センター
11 授業サポートシステム	教務部
G: KONAN つながるプロジェクト	
1 ボランティア・地域連携支援プロジェクト	フロンティア研究推進機構
2 岡本（商店街）地域連携	法学部
3 授業参観、学部訪問デー	マネジメント創造学部
4 KONAN つながるソサエティ	学長室
5 「海」でつながる—甲南大学と東市—プロジェクト	総合研究所
6 高大連携法教育	法学部
7 一日科学体験	理工学部
H: KONAN “なりたい自分”キャリアデザイン支援プロジェクト	
1 キャリアきっかけプログラム	キャリアセンター

(2) 共通教育の段階的改革の推進

「広域副専攻センター」を「共通教育センター」に名称変更し、共通教育の整備・拡充に取り組みました。平成28年4月より、共通教育センターに教員組織を発足させ、全学部融合型1年次対象の「共通基礎演習」を新設、さらに、専門知識と教養をベースに社会で活用できる応用力・実践力を養成する科目群として、主に高学年次の学生を対象とした「キャリア創生共通科目」を新設します。

(3) 教育学習支援センターの開設

「情報教育研究センター」を「教育学習支援センター」に改組し、これまでの基礎的な情報教育に加え、プロジェクト型学習をはじめとするアクティブラーニング等の先進的な授業や、これらの授業での学生に対する支援を充実させました。

(4) グローバル・ゾーン（Porte）の整備

平成27年9月、2号館1階に国際交流センター及び留学生のための「あじさいのむ」を移転するとともに、外国語のみでコミュニケーションするLanguage LOFT、グローバル・ラーニングcommons、グローバル・カフェを新設、これらを一体化したグローバル・ゾーン（名称「Porte（ポルト）」）として整備しました。Porteでは、国際交流センターのもとに運営管理体制を整備し、国際交流センター及び国際言語文化センターが提供する各種イベントや語学教育と連動したプログラムを実施したほか、留学生との交流、学生の自律的な学習を促進する場として活用し、本学のグローバル教育拠点として運営しています。

(5) サーティフィケート制度の確立

人物教育率先の建学の理念に基づき学生を啓発しその成長を促進するため、成績評価に現れにくい学生の力を可視化し、認定することを目的として、学生の個性を評価する甲南独自の制度「KONAN サーティフィケート」を立ち上げ、今年度は「グローバルサーティフィケート」、「ライブラリサーティフィケート」を確立し、それぞれ8名の学生を認定しました。うち「グローバルサーティフィケート」では3名を1級に認定しました。

(6) 大学の情報発信力の強化

受験生向けウェブサイト「甲南Ch」の改善・充実をはじめ、各種媒体において教育改革アクションプラン等、大学の各種取組

Highlight 2015

の状況を積極的に情報発信する体制をとり、ステークホルダーや社会に対して本学の特色・魅力をアピールしました。平成28年度から開始する新たな取組みについては、入学予定者への積極的な広報を行いました。また、IRデータを活用した情報提供に取り組み、社会的要請が高まっている情報開示に積極的に対応していきます。

06 甲南高等学校・中学校

「フロントランナーコース」「アドバンスコース」からなる新コースは2年目を迎え、理系の素養や国際舞台で通用する力を養うことを目的に「サイエンスラボ」「グローバルラボ」を開始、基礎期間（中学1-2年生）においても、SGE（構成的グループエンカウンター）を導入し、自身や他者への気づきから人間関係の構築を行う力を身につけました。また、第一線で活躍する著名人を招聘する全校生対象の新規プロジェクト「ソフィア」を実施。ミズノ株式会社社長の水野正人氏、心臓外科医の須磨久善氏をお招きし、仕事に対する思いや人生観などについて語っていただきました。

また、再開発事業では、新体育館「学園創立90周年記念 徳体知アリーナ（愛称：Eアリーナ）」が4月に竣工。同施設は地上2階、地下2階建てで、その大部分をグラウンドの地下に設置したことが最大の特徴です。年間を通して快適な環境で活動でき、アリーナとともに運動部部室やトレーニングルーム等も設置されました。健康の増進を重んじる平生精神を实践する建物として、徳・体・知のバランスのとれた人物を育成する教育理念を実現し、生徒がスポーツを通して豊かな人間性を身につける場として利用を開始しました。



学園創立90周年記念 徳体知アリーナ（愛称：Eアリーナ）

07 戦略事業の展開

■先端生命工学研究所（FIBER）の第2期プロジェクト2年目の研究推進

平成26年度に開始した第Ⅱ期プロジェクトでは、「FIBER第Ⅱ期計画」に基づく研究、文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」（平成26年度から5年間）に採択された研究「核酸の非標準構造を標的とした細胞応答の化学的制御技術の構築と先制核酸医学への展開」を推進するとともに、国内外の機関と連携した研究を推進しました。研究成果はドイツやイギリス等の世界的な学術雑誌に掲載されており、それらの論文を活用する創業企業が出現しはじめています。また一般公開講演会や地域の子供達を対象としたイベント等も頻りに開催しました。

また、1月には、甲南大学とスロベニア国立化学研究所（NIC）並びに甲南大学先端生命工学研究所（FIBER）とスロベニア国立NMRセンター（SLONMR）との間で学術交流協定を締結。SLONMRは、4月より日本学術振興会における二国間共同研究プロジェクトの採択を受け、先制核酸医学をテーマに共同研究を進めており、今回の学術交流協定の締結で、より広範囲、多角的な研究テーマの設定が可能となったほか、両研究所間における研究者の交流を大学全体に還元し、より国際的な教育研究環境を創出することが期待されます。

■法科大学院の第3期プロジェクト2年目の展開

予備試験制度が定着し、ロースクールの制度環境が厳しさを増すなか、10回目となる平成27年司法試験に11名が合格。司法試験の合格者累計は114名となりました。昼夜開講、春秋入学制度を敷き、広く社会人にも門戸を開くなどの本学の特色ある様々な取組は、文部科学省による補助金算定のための審査においても高い評価を得ており、これらはその時々全国紙で報道され、甲南ロースクールはその名を全国に定着させています。

I 事業の概要

大学・大学院

1 教育

(1) アクティブラーニング等の推進、学習支援体制の充実

グループ学習のファシリテーターであるラーニング・アシスタントの授業への派遣や、レポートの添削指導を行うライティング・サポートを実施。また、アクティブラーニング型の授業の実態調査を実施し、学生の自学自習を支援する機器等を整備。

(2) FD活動等教育改革への取組と教育力強化の支援・促進

担当者間・科目間の連携を強化させ、教育の基本方針と3つのポリシーを具体化する取組を推進。各科目の到達目標を示すカリキュラムマップを作成。

(3) 国際社会でグローバルに活躍できる能力を身につけた学生の輩出

「留学受け入れ」「留学送り出し」と「学内国際交流」を充実させ、融合型グローバル教育を推進。認定校留学制度を導入し、一般財団法人JSAF（Japan Study Abroad Foundation）を通じ、新たな留学先として94大学を開拓。エリアスタディーズは新たに4コースを開講。学園創立100周年時点での10コース開講を目指す。また、グローバル人材として優れた国際交流活動が認められた学生に授与する「グローバルサーティファイケイト」制度を導入し、1級3名、2級3名、3級2名を認定。

(4) 教員養成の理念に即した教職課程の運営と全学的な教職指導の体制構築

「教職実践演習」の充実、教職教育センター教員と教職指導員を中心とした教科別指導体制の整備、外部機関による教員採用対策講座と模擬試験を実施。

(5) スポーツ推薦入学者への教育・学生生活支援

基礎体育学演習や基礎英語でスポーツ推薦入学者を対象にした特別クラスを編成。学生部・スポーツ強化支援室との面談を定期的実施。キャリアセンターや各学部とも連携するなど、スポーツ推薦入学者の個性を生かすために全学的な連携を強化。

(6) 自己点検評価の推進、内部質保証システムの構築

平成25年度の認証評価（結果は適合）で受けた指摘事項の改善と会計専門職専攻の改善報告、大学のビジョン・戦略の策定やFD、IR等に関する組織体制の整備とPDCAサイクルに必要な各種仕組みの確立など自律的な内部質保証システムの構築を推進。

2 研究

(1) 学内の各種研究助成による研究支援

「平生太郎基金」、「甲南学園教育・研究基金」等の運用果実を活用した研究、出版、外国人研究者の招聘等事業への助成。

① 平生太郎基金科学研究奨励助成

申請者	研究課題	研究助成期間	助成金額 (千円)
杉本 直己 (先端生命工学 研究所教授) (生命分子学)	甲南DNAドックによる疾患リスクの革新的早期診断システムの構築	平成25年4月1日 ↓ 平成30年3月31日 (5年間)	15,000 (期間5年/ 総額約1億円)
秋宗 秀俊 (理工学部教授) (物理学)	超新星爆発と核物質	平成27年4月1日 ↓ 平成28年3月31日	9,000
久原 篤 (理工学部准教授) (生物学)	動物の温度適応の分子神経メカニズム	平成27年4月1日 ↓ 平成28年3月31日	5,000
木本 篤志 (理工学部講師) (機能分子学)	メタロ有機エレクトロニック材料群の創製	平成27年4月1日 ↓ 平成28年3月31日	3,000
平成27年度助成金額合計			32,000

※平生太郎基金科学研究奨励助成-学園創設者平生三郎のご子息、太郎氏のご令室である故平生愛子様から遺贈を受けた財産で、科学研究（医学を含む）を奨励することを目的とした基金。平成6年度より開始された学園の研究奨励助成制度。

② 平生記念人文・社会科学研究奨励助成

申請者	研究課題	研究助成期間	助成金額 (千円)
都築 直也 (文学部教授) (日本語日本文学)	広域グロットグラムによる関西・中国方言の動態・動向に関する社会言語学的研究	平成27年4月1日 ↓ 平成28年3月31日	500
富樫 公一 (文学部教授) (人間科学)	トラウマ体験者がトラウマの不条理さを人生の中に組織するプロセスに関する精神分析的考察	平成27年4月1日 ↓ 平成28年3月31日	500
佐藤 公美 (文学部准教授) (歴史文化学)	中世アルプス山間都市と周辺地域の政治社会	平成27年4月1日 ↓ 平成28年3月31日	500
平成27年度助成金額合計			1,500

※平生記念人文・社会科学研究奨励助成-平生太郎基金の遺贈者の精神に喚起された学園が学園の資金で人文・社会科学系分野の研究を奨励する助成制度。

③伊藤忠兵衛基金出版助成

申請者	著書名	助成金額 (千円)
中町 信孝 (文学部教授) (歴史文化学)	『アラブの春』と音楽	1,500
藤井 一英 (教職教育センター特任教授)	公民教育とは何か	900

※昭和51年、第3代・第5代理事長伊藤忠兵衛の遺言により遺贈を受けた財産で、学術研究の出版を助成することを目的とした基金。その後、昭和57年にその他の特定基金として統合し、甲南学園教育・研究基金となり、同時に国際交流助成制度を整備した。



④国際交流助成

外国人研究者招へい及び学生の海外派遣事業に7件、合計374,475円を助成。

⑤総合研究所共同研究

学術の進歩に寄与することを目的として、昭和59年に設置された総合研究所の下、人文・社会・自然科学の諸分野にわたる総合的な共同研究6件に対し、研究費を助成。

(2)私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の展開

平成25年度文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択された「環境応答を司る細胞ネットワークの機能発現の分子細胞メカニズムの解明」(統合ニューロバイオロジー研究所 期間：平成25年度から5年間)の研究推進。

※先端生命工学研究所の同事業は先述の通り。

(3)私立大学等経常費補助金特別補助(大学間連携等共同研究)による共同研究の実施

理工学部と知能情報学部が私立大学等経常費補助金特別補助(大学間連携等共同研究)を申請。14件(新規6件、継続8件)の共同研究を推進。

(4)科学研究費助成の採択、研究支援体制の強化

文部科学省、日本学術振興会による平成27年度科学研究費助成事業の研究課題は108件(新規31件、継続77件、転入者含む)、新規採択率37%。日本学術振興会二国間交流事業や科学技術振興機構の戦略的創造研究推進事業等の公的研究費、公益財団法人ひょうご科学技術協会をはじめとした各種財団の研究助成等にも多くの研究課題が採択。

(5)研究支援の強化、コンプライアンスへの対応

各種競争的研究資金の申請から管理・執行までの一元的な支援体制強化、科研費関連説明会の開催、各種助成金情報の定期的な発信、産官学連携コーディネーターとの連携等による研究費獲得に向けた積極的な取組を推進。

「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」、「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に対応した不正防止活動、コンプライアンス教育、研究倫理教育を推進。

(6)知的財産の活用促進

本学教員の知的財産である研究シーズ情報の積極的な発信の場として、産官学連携に有益な「イノベーション・ジャパン大学見本市」・「新技術説明会」・「ビジネス・エンカレッジフェア」等へ参画出展。またグランフロント大阪における「大学都市KOBЕ 情報発信プロジェクト」(神戸市との共催)へ参画出展。

3 学生支援活動

(1)学生生活の支援

課外活動の活性化を目的としたスポーツ応援プロジェクト(応援ツアー含む)の実施。障がい学生支援体制の整備。学生マナーアップの推進、学内奨学金と学長表彰・学長顕彰等各種表彰の充実、スポーツ応援プロジェクト(アメリカンフットボール型)学内給付制奨学金受給者・特待生で構成される「甲南スカラシップ倶楽部」の拡充、学生の健康保持・増進、甲南大学父母の会からの支援「父母の会・学生GP」を活用した学生主体の様々な取組を喚起。



●「父母の会・学生GP」採択一覧

代表者学部	テーマ	取組金額
文学部	甲南大学日本語教室「あおぞら」	120,000円

(2)キャリア形成・就職支援

窓口時間の延長、キャリアカウンセラーの配置、体系だった筆記試験対策の強化、学内合同企業説明会、企業研究セミナー等の実施、学生の特性や意識、ニーズ等個々の状況に応じたフォローアップ等により、平成27年度就職率は97.7%を達成。

(3)保護者との関係強化

「教育懇談会」において、各学部・学科、キャリアセンター説明会と講演会、各種個別相談等を実施。(岡本キャンパス、東京都、岡山市、福岡市各1回、参加者合計1,254名)

4 社会連携・貢献活動

(1)地域連携・貢献活動の推進

東灘区チャイルドフェスティバル(東灘区役所、東灘区社会福祉協議会との連携)、岡本一斉クリーン作戦(岡本商店街振興組合等との連携)等の実施、東灘区役所や御影クラスセとの地域連携協定に基づく各種活動の推進、学内博物館実習施設「ギャラリー・バンセ」での展示発表、六甲アイランド総合体育施設を活用したイベント、図書館・サイバーライブラリの地域公開等を実施。

(2)教員免許状更新講習の開講

小学校・中学校・高等学校の教員等を対象に、教職教育センター、文学部、理工学部、スポーツ・健康科学教育研究センターにて「教育の最新事情」等の9講習を開講。

(3)産官学連携の推進

本学と関わりのある産業界、官公庁とのネットワーク強化、企業との連携協定に基づく各種活動を活性化。

実績：受託研究18件・7,600千円、共同研究34件・1,990千円、奨学寄附金14件・2,150千円

(4)自治体連携・大学間連携の推進

神戸市公民大学連携推進室との共同事業「大学都市KOBЕ情報発信プロジェクト」の継続展開、堺市企画部、商工労働部等の総合研究所KONANプレミア・プロジェクト「海」でつながる「甲南大学と堺市」の展開、大学コンソーシアムひょうご神戸加盟大学との相互交流の活性化、「西宮市大学交流協議会」の大学共通単位講座や市民対象講座等への講師派遣。

(5)公開講座・生涯学習・スポーツ振興

公開講座、「言語と文化」講座、各種スポーツ講座のほか、ネットワークキャンパス東京を含む各キャンパスにて様々な公開イベントを開催。日本学術振興会「ひらめき☆とき 科学的発見とときめきサイエンス」の一環として「ミクロの忍術使い「細胞」の秘密をさぐる(統合ニューロバイオロジー研究所)」や「DNAの姿・カタチでタンパク質のはたらき(活性)を変えよう(先端生命工学研究所)」を開催。



5 環境整備

(1)施設設備の充実、安心安全なキャンパスづくりの推進

講義室等の照明LED化工事、太陽光発電設置工事、防災機能強化と災害備蓄品整備等を継続実施。

(2)情報環境の整備

9号館と10号館の各フロアに無線LANアクセスポイントを

整備。図書館システムの更新により、電子図書館等による利用者サービスを改善。Microsoftとの包括ライセンス契約締結により、学生向けMicrosoft Officeソフトウェアの利便性の飛躍的向上を実現。

(3)情報セキュリティ

不正アクセス等へのセキュリティ強化を目的に、通信機器の通信記録を収集・可視化する装置を導入。

6 学生募集・入学試験に係る活動

教学コンテンツの発信に重点を置き、「育成型」入試の実現に向けた学生募集活動を実施。高大接続を強化するため、出張講義や高校教員向け催しを開催。学力と適性を総合的に評価する公募制推薦入学試験を7学部に拡大して実施。

7 課外活動

(1)各種助成金の支給

スポーツ強化支援「強化指定団体制度」に基づく、強化指定団体(11団体)を対象とした「重点強化助成」の助成額を査定、交付。その他体育会クラブを対象とした「活性化助成」「振興助成」による指導者招聘のための助成金を交付。

(2)主な活動成果(金甲賞 受賞クラブ)

※金甲賞は甲南大学父母の会創立40周年を記念し、学生の課外活動を活性化することを目的として平成6年に設けられた表彰制度。

陸上競技部(女子)

- ・日本陸上競技選手権大会兼世界陸上競技選手権大会代表選手選考競技会 100mハードル2位
- ・日本陸上競技選手権大会 4×100mリレー3位(関西学生新記録樹立)
- ・日本学生対校選手権 4×100mリレー2位、100mハードル2位、走高跳5位、200m8位
- ・日本学生個人選手権 100mハードル2位、200m3位、走高跳3位・6位、100m4位

弓道部

- ・全国大学弓道選抜大会 女子団体準優勝
- ・関西女子1部リーグ全勝優勝(二連覇)

バドミントン部

- ・全日本学生バドミントン選手権大会 男子団体5位
- ・関西学生バドミントン選手権大会 女子ダブルス5位

ライフル射撃部

- ・全日本学生ライフル射撃選手権大会50mライフル伏射60発競技 男子個人3位、同50mライフル三姿勢120発競技 男子個人6位

I 事業の概要

高等学校・中学校

1 教育

平生精神をバックボーンとする甲南一貫教育の実現

- ・甲南大学各学部と連携し「理科特別実験」、「特色ある科目」を実施。
- ・中3生対象に社会で活躍する卒業生を招聘した「OBワークショップ」を実施。
- ・甲南小学校、甲南女子中高、甲南大学と連携し、環境学習を実施。
- ・高一生対象に、キャリアリサーチの一環として卒業生の経営する企業（オリバーソース㈱、辰馬本家酒造㈱）訪問を実施。

2 学習活動・学校生活の支援活動

学習環境の整備、学力の向上、徳育の強化

- ・LL教室のCALLシステムを移設、教科「情報」とマルチタスクで利用できるPC教室に改修。
- ・LL教室をアクティブラーニングが可能な教室に改修。
- ・学習管理システム「レナディ」を用いたe-learningを促進し家庭学習を充実。
- ・図書館での貸出パソコンを整備、より多くの利用を目的に開館時間を延長。
- ・ネイティブ教員による「チャンツコンテスト」「イングリッシュキャンプ」を実施。



改修後のLL教室

3 グローバル・スタディ・プログラムの充実

国際コミュニケーション力の向上

グローバル生12名が参加し、東南アジアの代表的工業国であるタイへの短期スタディツアーにて地元の高校や企業、パノック甲南会との交流を実施。

4 環境整備

- ・高等学校・中学校再開発事業の一環に位置付けた防災対策工事を実施。
- ・老朽化した音楽教室の改修工事と視聴覚設備の更新を実施。
- ・中学校教室扉の更新工事を実施。
- ・中学校・高校棟教室のロールカーテンを更新。

5 進路状況

それぞれのコースの特性を活かし、一人ひとりの適性や個性に応じて自己の進路を確立。内部推薦で約5割が甲南大学へ進学。他の約5割は大阪大学や神戸大学をはじめとした国

公立大学、首都圏・関西圏等の医歯薬系も含めた私立大学に進学。

6 生徒募集・入学試験に係る活動

「人創り」の精神、甲南独自の教育内容を伝えるための取組

教育情報誌等広告媒体を活用した生徒募集活動の展開と教職員全員参加による中学・高校入試説明会、学校見学会を実施。

7 課外活動

主な活動成果

<高等学校>

- テニス部：近畿私立大会団体3位
- アーチェリー部：インターハイ団体9位
- 弓道部：近畿大会団体8位、個人3位・4位
- ホッケー部：インターハイ出場
- 水泳部：近畿大会100mバタフライ8位
- プラスアンサンブル部：ジャパンスチューデントジャズフェスティバル神戸市民文化振興財団賞(全国4位)
- 将棋部：全国高等学校将棋選手権男子団体戦準優勝、全国総合文化祭出場
- 書道部：高野山読書大会金剛峯賞

<中学校>

- テニス部：全国中学生選手権大会団体ベスト8、近畿私立大会団体優勝
- ゴルフ部：全国選手権大会出場
- ラグビー部：県中学総体3年連続優勝(近畿大会出場)
- 弓道部：明治神宮全国大会出場
- 水泳部：近畿総体200m平泳ぎ9位、100m平泳ぎ10位、全国総体出場
- 野球部：近畿少年軟式野球大会出場
- プラスアンサンブル部：ジャパンスチューデントジャズフェスティバル JAJE会長賞(全国3位)



法人

1 管理運営

(1) 資金計画の策定

学費改定の検討と決定、学園創立100周年記念事業を見据えた資金の把握、学園財政における学内外の要因を分析。

(2) 募金活動の強化

高等学校・中学校の生徒保護者を募集対象者とした「教育振興募金」に約4,600万円、新たに設置した大学の体育会強化指定クラブを受入対象とした「スポーツ教育力強化支援寄付金」に140万円のご芳志を拝受。

(3) マイナンバー制度に伴う対応、リスク管理体制の強化

マイナンバー制度の利用開始に伴い、学園が取り扱うマイナンバーの適正管理を目的とした規程を制定。監査部による各種規程監査を実施。

(4) 中期的な人事政策の策定

客観的かつ公正な人事評価を目的とした専任職員評価加算昇給制度を構築。

(5) 学校法人会計基準の一部改正(平成27年度施行)への対応

学校法人会計基準の一部改正に伴いシステムを修正、予算執行及び予算書へ反映。

(6) 奨学助成基金の充実

給付制奨学金の更なる充実を目的に第3号基本金の組入れ(5,000万円)を継続。貸与制奨学金の延滞者(10年以上)への適切な回収を継続実施。

(7) 物品・物件調達合理化、コスト削減

電力購入先の見直しを行い、キャンパスごとに最適な提案を求め、電力コストを削減。

(8) ネットワークキャンパス東京(NC東京)の活動

“東京のキャンパス”としての存在価値を高めるため、就職活動時の利用のみならず、東京へのツアー企画等を立案し、低年次生を含めた利用拡大を検討。学生の利用促進のため、広報部の協力による動画の作成、案内チラシの作成、ホームページ更新等によるPR活動を展開。現役学生と卒業生との連携強化にも注力する一方、学園や大学の知名度向上のため、公開講座等を実施。平成27年度利用者数は延べ約4,000名。

2 広報活動・卒業生との連携

(1) 青少年の育成支援・地域社会への貢献を目的としたスポーツ・芸術活動への協賛

兵庫県立芸術文化センター、ヴィッセル神戸、堺ブレイザーズをはじめとする地域性の高い諸団体との交流を通じた本学学生・生徒や地域社会に対する芸術・スポーツ活動の還元を実施。指揮者 佐渡裕氏が率いる「佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ」の支援では、東日本大震災の復興記念活動である演奏会に本学の交響楽団に所属する学生5名がボランティアとして同行。



佐渡裕氏と学生ボランティア

(2) 平生日記の翻刻

学園創立90周年を記念して開始した、学園創立者平生凱三郎の32年間に亘る日記の翻刻事業を継続。平成27年度は、第11巻と第12巻(昭和4年9月1日～昭和7年1月31日)を刊行。

(3) 学園史資料の活用

旧制甲南高等学校で学んだ音楽家、貴志康一の功績がテレビ番組や新聞各紙で幅広く取り上げられたほか、貴志康一の絵画作品を芦屋市立美術館「モダン芦屋クロニクル」にて展覧。またオーケストラ作品「日本組曲」「日本スケッチ」の楽譜を出版し、学内外への広報活動を継続実施。



(4) 卒業生との連携強化

ホームカミング・デー「オール甲南の集い」を大学祭と同日、同窓会と共催で開催。プロ野球球団「東北楽天ゴールデンイーグルス」取締役副会長の星野仙一氏による特別講演会のほか、アマチュアゴルフ界で活躍された本学卒業生の中野銀次郎氏の特別展示、クラブ・ゼミ・卒業生会、全体懇親会等を開催し、約650名が参加。

(5) 卒業生・地域向けの文化イベント「甲南×岡本梅と文化の花結日」を実施

学園創立100周年へ向け、卒業生の帰属意識を高めることを目的に、岡本の地域性を活かした文化イベントを開催。岡本梅林公園ツアーの実施、甲南中学校・高等学校卒業生のヴァイオリニスト 山中裕平氏による演奏のほか、甲南大学卒業生の落語家 桂慶治朗氏による落語等の催しを実施。



甲南×岡本梅と文化の花結日

平成27年度決算の概要

ここまで記載の通り、本学は平成31年に学園創立100周年を迎えます。第2世紀に向け、人物重視の教育を実施する教育改革や環境整備に努めています。大学ではアクティブラーニングを実現するための教室改修、身近にキャンパス内国際交流ができるグローバルゾーンの創設、地域連携を強力に推し進めるセンターの整備。また図書館システムの更新、パソコン設備の更新をはじめ、平成28年度に本格運営となる白川台キャンパスの整備を行いました。さらに健康増進・体育活動の実施の場としての六甲アイランド体育施設の投資も行いました。

高等学校・中学校では平成27年4月に新体育館が竣工し、その周辺施設の整備、さらには教室の改修等、環境面の整備を行いました。また教育面でも新コース制がより機能するためのソフィアプログラムなども展開され、幅広い学びの場を実現するための投資も行いました。

このように平成27年度は施設関係の投資が顕著に現れた決算となりましたが、他方で本学の新たな魅力を創出する「KONAN プレミアプロジェクト」(P.5ご参照)も年度初めから行われ、教育研究経費も前年度より増加しました。今後も受け入れた収入を最大限有効に使い、積極的に教育投資を行い、圧倒的な教育力により人物教育の実施を後押しできるよう、引き続き財務面からも事業を推進していきます。

以下、各決算数字をご説明いたします。

資金収支決算の概要

予算対比でみますと、平成27年度途中より開始した学園創立100周年記念事業基金は順調な清り出しとなり、寄付金収入が増収となりました。また大学部門において学生会館エリアの耐震改築及び研究装置にかかる補助金が交付されることとなり、大きく収入を押し上げました。他方、退職者数の変動により退職金財団の交付金収入が減少。このことは人件費支出の減少につながりました。なお支出では高等学校・中学校体育館が完成し、適切な科目に振り分けた結果として、教育研究及び管理の経費支出の執行額が増額しました。また大学の学生会館エリアの建て替えに伴う会計処理を見直したことも、経費が増額する結果となりました。

なお学園は各用途に応じた引当特定資産を有しており、その特定資産の積増し・取崩しが「資産運用支出」・「その他の収入」です。建物支出として予算化していたものが経費に振替えられたこともあり、特定資産の取崩額(「その他の収入」)が減りました。これらを総括しますと、資金調整勘定・預り金等を除く経常的な資金収入は193億42百万円、他方、支出は186億09百万円となり、昨年同様2つの特定資産に計7億円の積増しを行うことにより、最終的な支出は193億09百万円となり、経常的な資金は33百万円の収入超過となりました。(平成27年度より、活動区分に分けた決算数字を作成しています。詳細は14ページをご覧ください。)

活動区分資金収支計算書(学園総括) 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

教育活動による資金収支		施設整備等活動による資金収支		その他の活動による資金収支	
科目	金額	科目	金額	科目	金額
収入		収入		収入	
学生生徒等納付金収入	10,636,845	施設設備寄付金収入	117,501	前受金収入	0
手数料収入	535,251	施設設備補助金収入	430,458	前期末前受金	0
特別寄付金収入	110,178	施設設備売却収入	5	前期末未収入金収入	0
経常費等補助金収入	1,172,269	第2号基本金引当特定資産取崩収入	712,181	前期末未収入金収入	0
付随事業収入	137,730	償却引当特定資産取崩収入	2,933,807	期末未収入金	0
雑収入	373,846	現系学部設備充実費引当特定資産取崩収入	80,427	収入計	0
教育活動資金収入計	12,986,119	施設整備等活動資金収入計	4,274,379	前払金支払支出	0
人件費支出	7,864,858	施設関係支出	2,055,548	前期末前払金	0
教育研究経費支出	3,078,955	設備関係支出	362,511	前期末未払金支払支出	0
管理経費支出	594,644	第2号基本金引当特定資産繰入支出	1,608,799	前期末未払金支払支出	0
教育活動資金支出計	11,538,457	償却引当特定資産繰入支出	1,869,162	期末未払金	0
差引	1,427,662	現系学部設備充実費引当特定資産繰入支出	61,368	支出計	0
調整勘定等	△10,130	施設整備等活動資金支出計	5,957,386	調整勘定計	△119,563
教育活動資金収支差額	1,417,532	差引	△1,683,007	調整勘定等	△346,329
		調整勘定等	△346,329	施設整備等活動資金収支差額	△2,029,336
		施設整備等活動資金収支差額	△2,029,336	小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△611,804
収入		収入		収入	
借入金等収入	0	借入金等収入	0	借入金等収入	0
第3号基本金引当特定資産取崩収入	0	退職給与引当特定資産取崩収入	828,622	退職給与引当特定資産取崩収入	241,105
退職給与引当特定資産取崩収入	828,622	大学部・研究開発費等引当特定資産取崩収入	241,105	大学部・研究開発費等引当特定資産取崩収入	444,198
大学部・研究開発費等引当特定資産取崩収入	241,105	大学部・研究開発費等引当特定資産取崩収入	444,198	平生太郎基金引当特定資産取崩収入	30,109
平生太郎基金引当特定資産取崩収入	30,109	同端一基金引当特定資産取崩収入	3,007	同端一基金引当特定資産取崩収入	211,000
同端一基金引当特定資産取崩収入	3,007	中基教育充実引当特定資産取崩収入	211,000	貸付金回収収入	73,746
中基教育充実引当特定資産取崩収入	211,000	貸付金回収収入	73,746	預り金受入収入	191,514
貸付金回収収入	73,746	預り金受入収入	191,514	仮払金受入収入	591
預り金受入収入	191,514	仮払金受入収入	591	立替金受入収入	3,008
仮払金受入収入	591	立替金受入収入	3,008	敷金・保証金回収収入	98
立替金受入収入	3,008	敷金・保証金回収収入	98	小計	2,026,998
敷金・保証金回収収入	98	小計	2,026,998	受取利息・配当金収入	268,819
受取利息・配当金収入	268,819	受取利息・配当金収入	268,819	収益事業収入	275
収益事業収入	275	収益事業収入	275	その他の活動資金収入計	2,296,092
その他の活動資金収入計	2,296,092	借入金等返済支出	0	借入金等返済支出	0
借入金等返済支出	0	第3号基本金引当特定資産繰入支出	51,207	第3号基本金引当特定資産繰入支出	781,397
第3号基本金引当特定資産繰入支出	51,207	退職給与引当特定資産繰入支出	781,397	退職給与引当特定資産繰入支出	300,000
退職給与引当特定資産繰入支出	781,397	大学部・研究開発費等引当特定資産繰入支出	485,006	大学部・研究開発費等引当特定資産繰入支出	73,070
大学部・研究開発費等引当特定資産繰入支出	485,006	平生太郎基金引当特定資産繰入支出	73,070	同端一基金引当特定資産繰入支出	3,003
平生太郎基金引当特定資産繰入支出	73,070	同端一基金引当特定資産繰入支出	3,003	中基教育充実引当特定資産繰入支出	44,900
同端一基金引当特定資産繰入支出	3,003	中基教育充実引当特定資産繰入支出	44,900	出資金支出	441
中基教育充実引当特定資産繰入支出	44,900	出資金支出	441	貸付金支払支出	6,360
出資金支出	441	貸付金支払支出	6,360	預り金支払支出	170,974
貸付金支払支出	6,360	預り金支払支出	170,974	仮払金支払支出	760
預り金支払支出	170,974	仮払金支払支出	760	立替金支払支出	4,797
仮払金支払支出	760	立替金支払支出	4,797	敷金・保証金支払支出	102
立替金支払支出	4,797	敷金・保証金支払支出	102	その他の活動資金支出計	1,922,017
敷金・保証金支払支出	102	その他の活動資金支出計	1,922,017	差引	374,075
その他の活動資金支出計	1,922,017	差引	374,075	調整勘定等	△119,563
差引	374,075	調整勘定等	△119,563	その他の活動資金収支差額	493,638
調整勘定等	△119,563	その他の活動資金収支差額	493,638	支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△118,166
その他の活動資金収支差額	493,638	支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△118,166	前年度繰越支払資金	9,684,012
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△118,166	前年度繰越支払資金	9,684,012	翌年度繰越支払資金	9,545,846
前年度繰越支払資金	9,684,012	翌年度繰越支払資金	9,545,846		
翌年度繰越支払資金	9,545,846				

※企業会計と学校法人会計の相違につきましては、本学ホームページに記載しています。

★学校法人会計基準の一部改正

平成27会計年度より、学校法人会計基準が一部改正されました。社会・経済状況の大きな変化、会計のグローバル化等を踏まえた様々な会計基準の改正を受け、学校法人の経営状態を社会に分かりやすく説明する仕組みが求められていることが背景にあります。これにより、主に以下の変更がありました。

- (1)資金収支計算書に、新たに活動区分ごとの資金の流れがわかる「活動区分資金収支計算書」を作成。
- (2)従前の「消費収支計算書」の名称を変更した「事業活動収支計算書」において、経常的及び臨時的収支に区分して、それらの収支状況を把握できるようにすること。また基本金組入れ後の収支状況に加えて、基本金組入れ前の収支状況も表示。
- (3)貸借対照表について、固定資産の中科目として新たに「特定資産」を設けて表示。また「基本金の部」と「消費収支差額の部」(平成27年度より「繰越収支差額」)を合わせて「純資産の部」として表示。

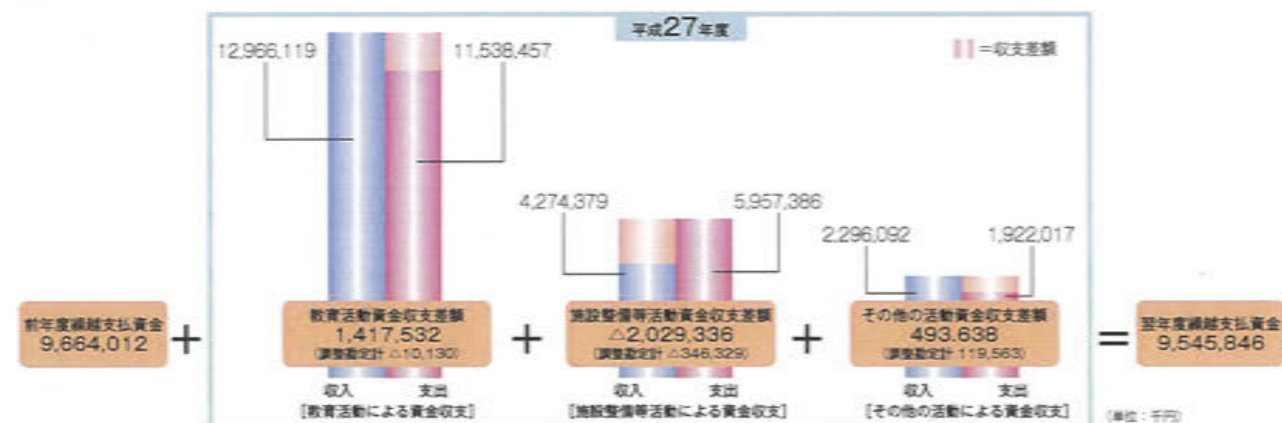
資金収支計算書(学園総括) 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	10,633,716	10,636,845	△3,129	人件費支出	7,910,673	7,864,859	45,814
手数料収入	538,091	535,251	2,840	教育研究経費支出	3,004,603	3,078,955	△74,352
寄付金収入	181,613	227,679	△46,066	管理経費支出	591,352	594,644	△3,292
補助金収入	1,325,773	1,602,727	△276,954	借入金等利息支出	0	0	0
資産売却収入	0	5	△5	借入金等返済支出	0	0	0
付随事業・収益事業収入	137,920	138,005	△85	施設関係支出	2,450,628	2,055,548	395,080
受取利息・配当金収入	263,589	268,819	△5,230	設備関係支出	359,864	362,511	△2,647
雑収入	381,987	373,846	8,141	資産運用支出	4,831,870	5,278,454	△446,584
その他の収入	6,302,547	5,558,299	744,248	その他の支出	6,360	6,360	0
				予備費	(155,672)		44,328
					44,328		
計	19,765,236	19,341,476	423,760	計	19,199,678	19,241,331	△41,653
資金調整	0	0	0	資金調整	64,941	67,382	△2,441
収入の部合計	19,765,236	19,341,476	423,760	支出の部合計	19,264,619	19,308,713	△44,094
収入超過額	500,617	32,763					

- (注)1.資金調整勘定、仮払金、立替金、預り金、前受金等は含んでいません。
2.「資金調整」は貸付金の収支差額を表します。

注記 予備費からの振替	人件費支出	296
	教育研究経費支出	105,928
	管理経費支出	26,190
	施設関係支出	9,848
	設備関係支出	13,308
	その他の支出	102
	計	155,672

繰越支払資金の流れ



事業活動収支決算の概要

学園全体の事業活動収入は138億23百万円、事業活動支出は135億24百万円となり、その差額である基本金組入前当年度収支差額は2億99百万円の収入超過となりました。また基本金組入額(下記「科目の説明」ご参照)は、白川台キャンパス、高等学校・中学校体育館、iCommons建設等の組入れが発生したものの、一部経費に振替えられたこと、教育研究用機器備品などを処分したことにより、予算を下回る27億03百万円となり、当年度収支差額は△24億04百万円となりました。

予算対比でみますと、事業活動収入(予算は134億96百万円)は資金収支決算の概要で述べました通り、寄付金と補助金が予算を上回ったことを受け、3億27百万円の増額となりました。他方、事業活動支出は人件費が予算を下回りました。反対に予算を上回った経費は、仮設プレハブの会計処理を見直したことにより減価償却額が増えたためです。また施設関係支出の科目振替により決算額が増えました。なお本学の場合、資産処分差額は基本的に決算時に処理(予算ではiCommons建物取壊しにかかる処分差額のみ計上)していますが、機器備品や中高体育館周辺施設の処分が発生し、予算額を上回りました。最終的にこれらの合計である事業活動支出は、予算額134億60百万円に對

して、決算では135億24百万円と、64百万円の予算超過となりました。

以上、収入も支出も増額となりましたが、収入面の増額が上回り、予算では35百万円であった基本金組入前当年度収支差額は2億99百万円となり、大きく収支が改善されました。

次に、前年度決算と比較しますと、先述と同様の理由で寄付金と補助金(施設設備補助金)が増額しました。また保有株式の買換えもあり受取利息・配当金が増え、退職者の減少による退職金財団交付金収入の減額があったものの、前年度の事業活動収入(平成26年度までは帰属収入)136億35百万円より1億88百万円上回りました。

また事業活動支出は職員人件費や退職給付引当金繰入額等が増減となる一方で、教育研究経費の増額や資産処分差額が発生したため、前年度(134億84百万円)を40百万円上回る135億24百万円となりました。

なお、基本金組入額は大学・中高の施設関係にかかる組入額が増えたため27億03百万円となり、事業活動収入の19.6%となりました。この組入れに含まれる奨学金等の基金である第3号基本金は前年度とはほぼ同額の51百万円をとなっておりま

科目の説明

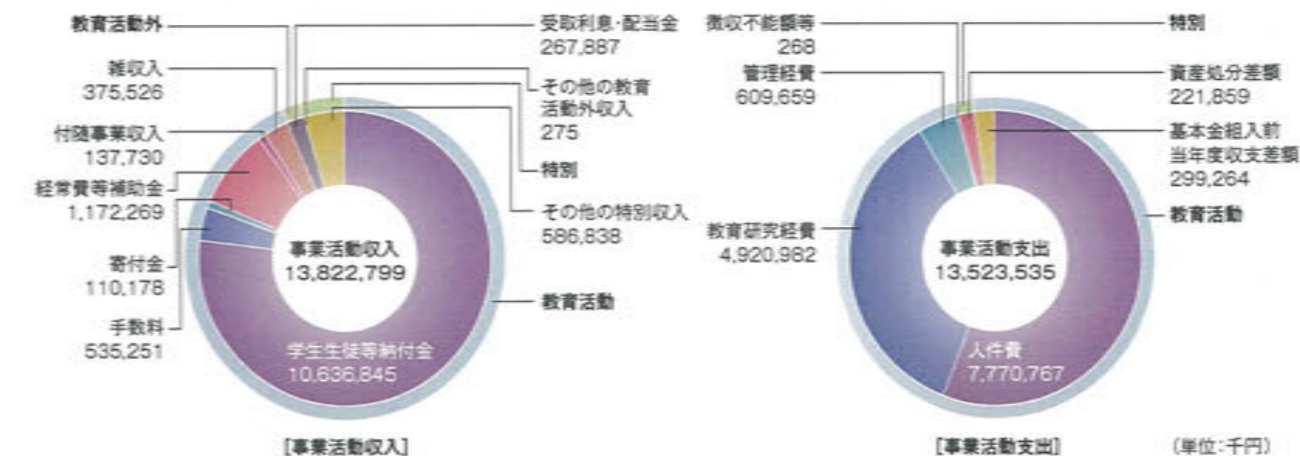
- 1. 学生生徒等納付金**
授業料・入学金・施設設備資金・施設維持費・教育充実費・実験実習費等
- 2. 手数料**
入学検定料・証明書手数料等
- 3. 寄付金**
教育振興基金、100周年記念事業基金、企業様からの研究助成等
- 4. 補助金**
経費補助金(戦略的研究基盤形成支援事業の経費部分を含む)・研究装置、設備、施設整備費等補助金等
なお、研究設備や装置等の設備に対する補助金は、特別収支の「その他の特別収入」に計上されます。
- 5. 受取利息・配当金**
特定資産を含む金銭面の資産運用による収入(施設設備の貸出しによる「施設設備利用料収入」は含まれません)
- 6. 付随事業・収益事業収入**
補助活動や受託事業・収益事業にかかる収入等
- 7. 雑収入**
退職金財団からの交付金収入、研究費の間接経費分の収入、施設設備の貸出しによる収入等

- 8. 人件費**
教員・職員に支給する本俸・期末手当・その他の手当及び所定福利費、役員報酬、退職給付引当金繰入額、退職金
- 9. 教育研究経費**
教育研究のために要する経費及び教育研究用減価償却資産の減価償却額
- 10. 管理経費**
教育研究経費以外の経費及び教育研究用以外の減価償却資産の減価償却額
- 11. 資産処分差額**
固定資産(建物・構築物・備品・図書等)の売却、廃棄差額
- 12. 徴収不能額等**
奨学金回収不能額を見積る引当金計上額や、徴収が不能または徴収を免除した徴収不能額
- 13. 基本金組入額**
校地・校舎・機器備品・図書等教育研究の充実・拡充のために取得した固定資産の充実に要した額及び教育研究基金等への組入額
(基本金は学校法人が教育・研究を継続的に維持向上させていくために必要な校地・校舎、機械器具、図書等取得した金額(第1号基本金)、校地・校舎等取得するために年次的、段階的に積み立てる資金(第2号基本金)、さらには教育・研究を維持充実するための積立(第3号基本金)及び恒常的に保持すべき資金として文部科学大臣の定める額(第4号基本金)の確保のために、充てられる金額です。)

事業活動収支決算書・構成比率(学園総括)

		(単位:千円)		(比率:%)	
科目	予算	決算	差異	比率	
事業活動収入	12,986,140	12,967,799	18,341	93.9	
学生生徒等納付金	10,633,716	10,636,845	△ 3,129	77.0	
手数料	538,091	535,251	2,840	3.9	
寄付金	102,553	110,178	△ 7,625	0.8	
経費等補助金	1,192,273	1,172,269	20,004	8.5	
付随事業収入	137,520	137,730	△ 210	1.0	
雑収入	381,987	375,526	6,461	2.7	
教育活動収入計	12,986,140	12,967,799	18,341	93.9	
事業活動支出	13,269,505	13,301,676	△ 32,171	96.2	
人件費	7,869,321	7,770,767	98,554	56.2	
教育研究経費	4,793,337	4,920,982	△ 127,645	35.6	
管理経費	606,847	609,659	△ 2,812	4.4	
徴収不能額等	0	268	△ 268	0.0	
教育活動支出計	13,269,505	13,301,676	△ 32,171	96.2	
教育活動収支差額	△ 283,365	△ 333,877	50,512		
教育活動外収入	263,989	268,162	△ 4,173	1.9	
受取利息・配当金	263,589	267,887	△ 4,298	1.9	
その他の教育活動外収入	400	275	125	0.0	
教育活動外収入計	263,989	268,162	△ 4,173	1.9	
教育活動外支出	0	0	0	0.0	
借入金等利息	0	0	0	0.0	
その他の教育活動外支出	0	0	0	0.0	
教育活動外支出計	0	0	0	0.0	
教育活動外収支差額	263,989	268,162	△ 4,173		
経常収支差額	△ 19,376	△ 65,715	46,339		
特別収入	123,154	221,859	△ 98,705	1.6	
資産売却差額	0	0	0	0.0	
その他の特別収入	245,560	586,838	△ 341,278	4.2	
特別収入計	245,560	586,838	△ 341,278	4.2	
特別支出	123,154	221,859	△ 98,705	1.6	
資産処分差額	123,154	221,859	△ 98,705	1.6	
その他の特別支出	0	0	0	0.0	
特別支出計	123,154	221,859	△ 98,705	1.6	
特別収支差額	122,406	364,979	△ 242,573		
[予備費]	67,586	67,586	0		
基本金組入前当年度収支差額	35,444	299,264	△ 263,820	2.2	
基本金組入額合計	△ 3,446,114	△ 2,703,176	△ 742,938	△ 19.6	
当年度収支差額	△ 3,410,670	△ 2,403,912	△ 1,006,758		
前年度繰越収支差額	△ 10,374,313	△ 10,374,313	△ 0		
翌年度繰越収支差額	△ 13,784,983	△ 12,778,225	△ 1,006,758		
事業活動収入計	13,495,689	13,822,799	△ 327,110	100.0	
事業活動支出計	13,460,245	13,523,535	△ 63,290	97.8	

※表の構成比率及び円グラフは、事業活動収入を100とした場合の当該科目の比率及び円グラフとなっております。
 ・「その他の教育活動外収入」には、収益事業収入が計上されています。
 ・「その他の特別収入」には、施設設備の寄付金と補助金、現物寄付が計上されています。

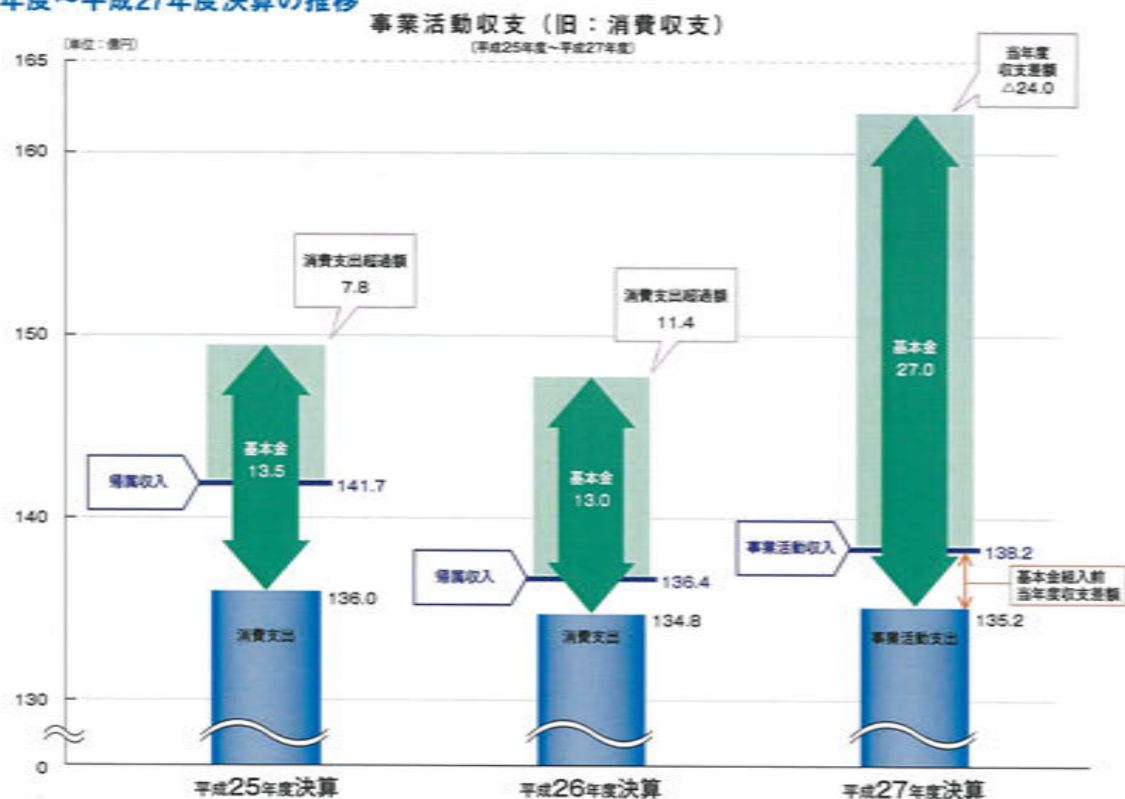


【事業活動収支(旧:消費収支)決算の推移(学園総括)】 平成22年度から平成27年度まで (単位:千円)

項目	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業活動収入 (旧: 帰属収入)		14,026,376	13,649,599	14,090,703	14,174,509	13,635,490	13,822,799
基本金組入額		△ 1,607,369	△ 1,164,416	△ 310,128	△ 1,352,153	△ 1,299,164	△ 2,703,176
旧: 消費収入		12,419,007	12,485,183	13,780,575	12,822,356	12,336,326	11,119,623
事業活動支出 (旧: 消費支出)		13,877,502	13,589,009	14,197,757	13,604,529	13,483,757	13,523,535
基本金組入前当年度収支差額 (旧: 帰属収支差額)		148,874	60,590	△ 107,054	569,980	151,733	299,264
当年度収支差額 (旧: 消費収支差額)		△ 1,458,495	△ 1,103,826	△ 417,182	△ 782,173	△ 1,147,431	△ 2,403,912
繰越収支差額(累計)		△ 6,923,701	△ 8,027,527	△ 8,444,709	△ 9,226,882	△ 10,374,313	△ 12,778,225

(注)「事業活動収入」の「(旧:帰属収入)」は、平成26年度までの旧基準では「帰属収入」であったことを表します(以下の表も同様です)。

【平成25年度～平成27年度決算の推移】



主な施設・設備の整備状況(学園全体)

平成27年度に行った主な工事は以下のとおりです。

工事名称	対象施設	概要
白川台キャンパス整備工事(1期)	大学	白川台セミナーハウス
グローバルゾーン整備工事(2期)	大学	同本キャンパス2号館
照明LED化工事	大学	同本キャンパス1・2・3号館
仮設食堂・部室建設工事	大学	同本キャンパス懸いの広場
5号館ゼミ室改修工事	大学	同本キャンパス5号館
新体育館建設工事	高等学校 中学校	徳体知アリーナ
アーチェリー場整備工事	高等学校 中学校	アーチェリー場

【貸借対照表(平成28年3月31日)】 (単位:千円)

資産の部			負債の部				
科目	平成27年度末	平成26年度末	増減	科目	平成27年度末	平成26年度末	増減
固定資産	78,854,695	78,346,382	508,313	固定負債	4,584,451	4,678,542	△ 94,091
有形固定資産	57,907,450	57,515,542	391,908	長期借入金	0	0	0
土地	22,489,434	22,261,942	227,492	退職給付引当金	4,584,451	4,678,542	△ 94,091
建物	26,665,679	25,936,473	729,206	流動負債	2,856,536	2,934,056	△ 77,520
構築物	1,334,648	1,270,385	64,263	短期借入金	0	0	0
教育研究用機器備品	1,764,812	1,830,127	△ 65,315	未払金	614,562	733,045	△ 118,483
管理用機器備品	11,876	13,785	△ 1,909	前受金	2,050,460	2,030,037	20,423
図書	5,300,492	5,239,293	61,199	預り金	191,514	170,974	20,540
建設仮勘定	340,509	963,537	△ 623,028	負債の部合計	7,440,987	7,612,598	△ 171,611
特定資産	20,018,230	20,226,064	△ 209,834				
第2号基本金引当特定資産	1,012,074	115,457	896,617				
第3号基本金引当特定資産	4,244,148	4,192,940	51,208				
退職給付引当特定資産	2,292,225	2,339,271	△ 47,046				
償却引当特定資産	7,235,564	8,303,712	△ 1,068,148				
理系学部設備充実費引当特定資産	142,604	161,664	△ 19,060				
大学教育・研究環境整備費引当特定資産	2,329,109	2,270,214	58,895				
大学将来計画準備引当特定資産	863,228	822,420	40,808				
平生太郎基金引当特定資産	1,884,286	1,841,290	42,996				
岡崎一雄基金引当特定資産	14,039	14,043	△ 4				
中高教育充実引当特定資産	953	167,053	△ 166,100				
その他の固定資産	929,015	602,776	326,239				
ソフトウェア	7,268	17,609	△ 10,341				
電話加入権	4,609	4,615	△ 6				
施設利用権	9,317	10,489	△ 1,172				
長期貸付金	353,079	419,052	△ 65,973				
長期未収入金	403,287	0	403,287				
出資金	24,579	24,138	441				
敷金・保証金	126,876	126,873	3				
流動資産	9,912,896	10,293,556	△ 380,660				
現金預金	9,545,846	9,664,012	△ 118,166				
未収入金	291,126	525,720	△ 234,594				
前払金	70,554	100,412	△ 29,858				
仮払金	426	257	169				
立替金	4,944	3,155	1,789				
資産の部合計	88,767,591	88,639,938	127,653				
				負債及び純資産の部合計	88,767,591	88,639,938	127,653

大学施設設備充実資金 115,457
INFINITY COMMONS建設資金 896,617
(平成27年度末)

(注)平成27年度の学校法人会計基準の改正(新基準)から、「その他の固定資産」のうち、各種引当特定資産を抽出して、中科目「特定資産」が新設されました。(平成26年度も新基準に合わせて分解し、表示しています。)

純資産の部			
科目	平成27年度末	平成26年度末	増減
基本金	94,104,829	91,401,653	2,703,176
第1号基本金	88,024,607	86,269,256	1,755,351
第2号基本金	1,012,074	115,457	896,617
第3号基本金	4,244,148	4,192,940	51,208
第4号基本金	824,000	824,000	0
繰越収支差額	△ 12,778,225	△ 10,374,313	△ 2,403,912
翌年度繰越収支差額	△ 12,778,225	△ 10,374,313	△ 2,403,912
純資産の部合計	81,326,604	81,027,340	299,264

【注記】貸借対照表の補足説明

その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

○有価証券の時価情報(総括表)

種類	平成27年度(平成28年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの(うち満期保有目的の債券)	4,025,841 (200,000)	5,418,767 (200,320)	1,392,926 (320)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの(うち満期保有目的の債券)	2,452,387 (1,100,000)	2,190,058 (1,009,022)	△ 262,329 (△ 90,978)
合計(うち満期保有目的の債券)	6,478,228 (1,300,000)	7,608,825 (1,209,342)	1,130,597 (△ 90,658)
時価のない有価証券	8,000		
有価証券合計	6,486,228		

【財務状況の推移(学園総括)】 平成22年度から平成27年度まで

(単位:千円)

項目	年度	平成22年度末	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末
総資産		88,710,335	88,103,509	88,029,824	88,419,425	88,639,938	88,767,591
固定資産		79,085,692	78,539,816	78,186,273	78,386,264	78,346,382	78,854,695
有形固定資産		59,786,408	58,688,791	57,752,547	57,611,811	57,515,542	57,907,450
特定資産		18,377,457	19,002,413	19,655,669	20,087,388	20,228,064	20,018,230
その他の固定資産		921,827	848,612	778,057	687,065	602,776	929,015
流動資産		9,624,643	9,563,693	9,843,551	10,033,161	10,293,556	9,912,896
総負債		8,358,244	7,690,828	7,724,197	7,543,818	7,612,598	7,440,987
固定負債		5,562,712	5,117,642	5,008,317	4,787,740	4,678,542	4,584,451
流動負債		2,795,532	2,573,186	2,715,880	2,756,078	2,934,056	2,856,536
(うち、借入金)		350,000	0	0	0	0	0
基本金		87,275,792	88,440,208	88,750,336	90,102,489	91,401,653	94,104,829
繰越収支差額 (旧:消費収支差額)		△ 6,923,701	△ 8,027,527	△ 8,444,709	△ 9,226,882	△ 10,374,313	△ 12,778,225
純資産 (旧:正味資産)		80,352,091	80,412,681	80,305,627	80,875,607	81,027,340	81,326,604

(注) 平成27年度の学校法人会計基準の改正(新基準)から、「その他の固定資産」のうち、各種引当特定資産を抽出して、中科目「特定資産」が新設されました。(平成26年度以前も新基準に合わせて分解し、表示しています。)

【財務比率の推移(学園総括)】 平成22年度から平成27年度まで

新基準となりましたが、経年推移・比較が分かるよう、旧基準の数値も掲載しています。

(単位:%)

比率名	算式(×100)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
固定資産構成比率	固定資産	89.1	89.1	88.8	88.7	88.4	88.8
	総資産	(87.5)	(87.4)	(87.3)	(87.4)	(87.2)	
固定比率	固定資産	98.4	97.6	97.4	96.9	96.7	97.0
	純資産(旧:自己資金)	(100.9)	(101.6)	(101.3)	(101.0)	(100.5)	
固定長期適合率	固定資産 純資産+固定負債	92.0	91.8	91.6	91.5	91.4	91.8
流動比率	流動資産	344.2	371.6	362.4	364.0	350.8	347.0
	流動負債	(223.9)	(216.7)	(217.9)	(223.8)	(235.3)	
流動負債構成比率	流動負債	3.2	2.9	3.1	3.1	3.3	3.2
	総負債+純資産	(5.6)	(5.8)	(5.8)	(5.6)	(5.4)	
総負債比率	総負債	9.4	8.7	8.8	8.5	8.6	8.4
	総資産	(13.4)	(14.0)	(13.8)	(13.5)	(13.3)	
退職給与引当預金率	退職給与引当特定預金(資産)	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	退職給与引当金	(71.9)	(64.0)	(64.0)	(65.0)	(65.5)	
償却引当預金率	償却引当特定預金(資産)	24.1	25.7	26.1	27.5	29.0	29.0
	償却引当金	(19.2)	(19.1)	(19.2)	(19.1)	(18.3)	

(単位:%)

比率名	算式(×100)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 事業活動収入 (旧:帰属収入)	78.3	80.9	79.4	77.1	77.8	77.0
	(73.6)	(71.6)	(74.6)	(74.8)	(73.9)		
寄付金比率	寄付金 事業活動収入 (旧:帰属収入)	1.4	1.0	1.0	2.8	1.3	1.9
	(4.0)	(3.1)	(2.7)	(1.6)	(1.6)		
[新] 経常寄付金比率	[新] 教育活動収入の寄付金 経常収入	0.7	0.8	0.7	2.0	0.9	0.8
	[新] 教育活動収入の寄付金 経常収入						
補助金比率	補助金 事業活動収入 (旧:帰属収入)	9.7	9.7	9.0	9.8	10.0	11.6
	(11.4)	(11.4)	(11.7)	(12.1)	(11.9)		
[新] 経常補助金比率	[新] 教育活動収入の補助金 経常収入	9.5	9.6	8.3	9.4	9.6	8.9
	[新] 教育活動収入の補助金 経常収入						
人件費比率	人件費 帰属収入 (新:事業活動収入)	57.4	57.1	57.9	57.6	59.8	56.2
	(50.8)	(53.5)	(51.9)	(52.5)	(52.3)		
人件費依存率	人件費 学生生徒等納付金	73.2	70.5	72.9	74.6	76.8	73.1
	(69.1)	(74.8)	(69.6)	(70.2)	(70.8)		
教育研究経費比率	教育研究経費 帰属収入 (新:事業活動収入)	33.9	34.7	33.0	32.6	34.5	35.6
	(31.8)	(31.6)	(32.9)	(33.6)	(33.6)		
[新] 教育研究経費比率	[新] 教育研究経費 経常収入	34.3	34.8	33.4	33.0	34.8	37.2
	[新] 教育研究経費 経常収入						
管理経費比率	管理経費 帰属収入 (新:事業活動収入)	5.9	7.2	6.2	4.7	4.3	4.4
	(7.3)	(7.1)	(7.8)	(7.3)	(7.5)		
[新] 管理経費比率	[新] 管理経費 経常収入	6.0	7.2	6.3	4.8	4.4	4.6
	[新] 管理経費 経常収入						
事業活動支出比率	(旧:消費支出) 事業活動支出 事業活動収入 (旧:帰属収入)	98.9	99.6	100.8	96.0	98.9	97.8
	(92.3)	(95.2)	(94.2)	(95.2)	(94.9)		
基本金組入率	基本金組入額 事業活動収入 (旧:帰属収入)	11.5	8.5	2.2	9.5	9.5	19.6
	(15.1)	(11.5)	(11.3)	(11.2)	(10.2)		

(注) ()内は全国理工他複数学部法人平均。
 ・「新」は平成27年度の学校法人会計基準の一部改正(新基準)を受けたものであることを表します。
 ・「固定資産」=有形固定資産+特定資産+その他の固定資産、平成27年度からの新基準より、「その他の固定資産」から各種引当特定資産を抽出して「特定資産」が区分されました。
 ・「純資産」=旧来の「自己資金」、「自己資金」は基本金+消費収支差額であり、新基準では基本金+繰越収支差額となります。
 ・「経常収入」=教育活動収入+教育活動外収入。

名称	学校法人甲南学園		
法人設立の年月日	大正7(1918)年12月20日		
設置学校	甲南大学・大学院		
	○岡本キャンパス	〒658-8501	兵庫県神戸市東灘区岡本8丁目9番1号
	○西宮キャンパス	〒663-8204	兵庫県西宮市高松町8番33号
	○ポートアイランドキャンパス	〒650-0047	兵庫県神戸市中央区港島南町7丁目1番20
	甲南高等学校・中学校		
		〒659-0096	兵庫県芦屋市山手町31番3号

役員(平成28年3月31日現在)

理事 ※1 定数19～29名以内
現員29名

吉沢英成 (理事長)
片山勉 (副理事長)
長坂悦敬 (学長)
松田博志 (校長)
杉村 隆 (副学長)
稲田義久 (副学長)
葉袋真人 (常勤)
平野欽一郎 (常勤)
木股知史 (文学部長)
日下部 岳 広 (理工学部長)
小山直樹 (経済学部長)
武井 寛 (法学部長)
渡邊和俊 (経営学部長)
渡辺 頌 修 (法学研究科長)
佐藤治正 (マネジメント創造学部教授)
杉本直己 (先端生命工学研究所長)
市川典男 (非常勤)
山田純嗣 (非常勤)
伊藤 勲 (非常勤)
稲垣 嗣 夫 (非常勤)
岡橋 輝 和 (非常勤)
小林 豊 (非常勤)
角 和 夫 (非常勤)
辰 巳 末 芳 (非常勤)
中 内 仁 (非常勤)

野澤 太郎 (非常勤)
平生 誠 三 (非常勤)
水越 浩 士 (非常勤)
村津 敬 介 (非常勤)

監事 ※2 定数2～3名以内
現員2名

植村 武 雄 (非常勤)
牧 美 喜 男 (常勤)

評議員 ※3 定数41～60名以内
現員58名

藍原 正 宜 (学内)
石井 昇 (学内)
石野 牧 生 (学内)
井野瀬 久美恵 (学内)
位原 美智子 (学内)
河口 浩 (学内)
佐藤 治 正 (学内)
寺尾 建 (学内)
狭間 宏 明 (学内)
濱谷 和 生 (学内)
小笠原 啓 次 (学内)

西田 和 雅 (学内)
伊藤田 隆 俊 (学内)
衣 斐 茂 樹
奥田 兼 三
小倉 宏 之
片山 勉 (学内)
佐藤 茂
白石 朋 康
杉山 洋 一
立野 純 三
道満 善 弘
松井 佐 一郎
丸谷 昭 博
葉袋 真 人 (学内)
和田 直 哉
稲垣 嗣 夫
平生 誠 三
平野 欽 一郎 (学内)
吉沢 英 成 (学内)
長坂 悦 敬 (学内)
松田 博 志 (学内)
木股 知 史 (学内)
日下部 岳 広 (学内)
小山 直 樹 (学内)
武井 寛 (学内)

渡邊 和 俊 (学内)
渡辺 頌 修 (学内)
宇津原 彰 一
金岡 信 康
熊田 昭 夫
坂本 昌 隆
嶋 達
田中 由 里子
花田 基 邦
市川 典 男
稲田 義 久 (学内)
岩崎 邦 彦
岩田 憲 明
上 島 一 泰
加藤 隆 久
佐々木 良 太郎
杉村 隆 (学内)
藤本 真 人
細谷 俊 雄
松谷 齊 泰
山内 守 明 (学内)
山田 純 嗣

※1 学校法人の決議機関は理事会であり、私立学校法は、「学校法人に理事をもって組織する理事会を置く。」、「理事会は学校法人の業務を決し、理事の職務の執行を監督する。」としています。理事は理事会に参画し、学校法人の業務を決めていきます。

※2 監事は、理事と同じように学校法人の役員となっています。監事は監査機関であって、①学校法人の業務、②学校法人の財産の状況を監査することが主たる任務とされています。そのほか、監査報告書の作成、学校法人の業務又は財産の状況について、理事会に出席して意見を述べることその職務とされています。監事は、評議員の同意を得て理事長が選任し、監事は、監査の公正を保つために、理事、評議員又は学校法人の職員と兼ねてはならないこととされています。

※3 評議員会は、学校法人の重要事項について、理事長から意見を求められ、理事長に対して意見を述べる諮問機関としての役割があります。予算の決定、基本財産の処分、寄附行為の変更等の重要案件については、理事長はあらかじめ評議員会から意見を聞かなければならないこととされています。

土地と建物(平成28年3月31日現在)

土地面積	
大学	302,216.63㎡
高等学校・中学校	45,791.00㎡
その他(職員住宅等)	4,908.08㎡
土地面積合計	352,915.71㎡

建物面積	
大学	138,008.58㎡
高等学校・中学校	18,167.89㎡
その他(職員住宅等)	1,624.75㎡
建物面積合計	157,801.22㎡

大学・大学院・高等学校・中学校基本データ

学位授与 学士

学部	学 士 (分野)	学 科
文 学 部	学士(文学)	日本語日本文学科 82名
	学士(社会学)	英語英米文学科 106名 社会学科 109名 人間科学科 101名 歴史文化学科 64名
理 工 学 部	学士(理工学)	物理学科 47名
	学士(理学)	生物学科 47名 機能分子化学科 55名
経 済 学 部	学士(経済学)	経済学科 376名
法 学 部	学士(法学)	法学科 384名
経 営 学 部	学士(経営学)	経営学科 388名
知 能 情 報 学 部	学士(工学)	知能情報学科 100名
	学士(情報学)	9名
	学士(理学)	1名
マ ネ ジ メ ン ト 創 造 学 部	学士(マネジメント)	マネジメント創造学科 179名
フ ロ ン テ ィ ア サ イ エ ン ス 学 部	学士(理工学)	生命化学科 41名

修士

研究科	修 士 (分野)	専 攻
人 文 科 学 研 究 科	修士(文学)	日本語日本文学専攻 3名
	修士(社会学)	英語英米文学専攻 1名 応用社会学専攻 1名 人間科学専攻 9名
自 然 科 学 研 究 科	修士(理学)	物理学専攻 8名
	修士(工学)	化学専攻 8名 生物学専攻 5名 知能情報学専攻 10名
社 会 科 学 研 究 科	修士(経済学)	経済学専攻 4名
	修士(経営学)	経営学専攻 3名
フ ロ ン テ ィ ア サ イ エ ン ス 研 究 科	会計修士(専門職)	会計専門職専攻 6名
	修士(理工学)	生命化学専攻 8名

博士

研究科	博 士 (分野)	専 攻
人 文 科 学 研 究 科	博士(文学) 1名	人間科学専攻 1名
自 然 科 学 研 究 科	博士(理学) 2名	生命・機能科学専攻 2名
	博士(情報学) 1名	知能情報学専攻 1名
社 会 科 学 研 究 科	博士(経営学) 1名	経営学専攻 1名
フ ロ ン テ ィ ア サ イ エ ン ス 研 究 科	博士(理工学) 2名	生命化学専攻 2名

専門職

研究科	学 位 (専門職)	専 攻
法 学 研 究 科	法務博士(専門職) 12名	法務専攻 12名

留学者数

大学

主な留学先・留学支援プログラム	派遣人数	受入人数		
中長期留学プログラム	交換留学 1年 10 半年 6	3 (21)		
	経営学部グローバル・ビジネス・コース	1	1	
	語学プラス交換留学(語学+専門科目)	5	—	
	奨学金	98	—	
	マネジメント創造学部特別留学コース	18	—	
	マネジメント創造学部マネジメントコース	5	—	
	甲南大学イヤー・イン・ジャパンプログラム	—	40	
	小計	143	44	
	私費外国人留学生・研究生	海外インターンシップ・海外企業訪問(マネジメント創造学部)	15	—
		海外フィールドワーク・海外ボランティア(マネジメント創造学部)	16	—
エリアスタディーズ(短期留学体験型プログラム)		29	—	
日本語教授法実習		7	—	
海外語学講座		64	—	
夏期日本語集中講座		—	30	
協定校プログラム		5	51	
小計		136	81	
合計		279	126	

高等学校・中学校

主な留学先・受入先	派遣人数	受入人数
交換留学	イギリス 1	2
	オーストラリア 2	3
	アメリカ(ハワイ) 2	1
	カナダ 5	—
グローバル・スタディ・プログラム	アメリカ 4	—
	オーストラリア 4	—
	イギリス 5	—
	ニュージーランド 8	—
外部団体(YFU、AFS等)	アメリカ 5	1
	オランダ 0	1
	ブラジル 0	1
英語研修旅行	ドイツ 1	0
	オーストラリア 8	0
グローバル・スタディ・ツアー	ニュージーランド 0	16
	タイ 12	0
合計	57	25

※()内の人数は、「甲南大学イヤー・イン・ジャパンプログラム」として受入れた交換留学生の人数
※主な派遣先大学は32校(アメリカ・カナダ・イギリス・ドイツ・フランス・オーストラリア・韓国・中国・台湾)

入学試験状況

大学

学部・学科	一般入試			センター利用入試			その他の入試			
	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	
文学部	日本語日文学科	474	467	97	312	308	91	76	76	37
	英語英米文学科	557	546	187	296	288	92	72	70	41
	社会学科	548	537	191	406	399	140	67	67	40
	人間科学科	632	621	179	389	384	68	100	99	51
	歴史文化学科	363	355	124	269	262	92	40	40	29
	小計	2,574	2,526	778	1,672	1,641	483	355	352	198
理工学部	物理学科	622	608	182	214	211	53	39	38	19
	生物学科	258	254	120	146	145	63	25	24	12
	機能分子化学科	567	556	246	192	189	62	28	27	20
	小計	1,447	1,418	548	552	545	178	92	89	51
経済学部	1,934	1,907	609	1,267	1,255	417	197	196	176	
法学部	1,993	1,957	548	1,246	1,229	434	267	267	176	
経営学部	1,859	1,832	403	1,160	1,150	327	601	597	244	
知能情報学部	595	579	219	352	345	99	93	93	61	
マネジメント創造学部	529	518	205	213	212	83	249	241	112	
フロンティアサイエンス学部	191	185	88	151	148	70	41	40	13	
合計	11,122	10,922	3,398	6,613	6,525	2,091	1,895	1,875	1,031	

※その他の入試とは、公募制推薦入学試験、AO入学試験、スポーツ能力に優れた者の推薦入学試験、経営学部高等学校商業科推薦入学試験、理工学部高等学校工業科推薦入学試験、指定校推薦入学、系列校推薦入学、協定校推薦入学、帰国子女入学試験、社会人入学試験。

大学院(修士課程)

課程	研究科・専攻	志願者数	受験者数	合格者数
人文学	日本語日文学専攻	2	2	1
	英語英米文学専攻	1	1	1
	応用社会学専攻	3	3	3
	人間科学専攻	40	38	12
	小計	46	44	17
自然科学	物理学専攻	27	23	15
	化学専攻	19	19	14
	生物学専攻	13	13	13
	知能情報学専攻	5	5	5
	小計	64	60	47
社会科学	経済学専攻	14	12	5
	経営学専攻	1	1	0
	小計	15	13	5
フロンティアサイエンス	生命化学専攻	22	20	13
合計		147	137	82

修士課程：一般入学試験、社会人入学試験、AO入学試験、外国人留学生入学試験、学内推薦入学試験、学内選考入学試験

大学院(博士後期課程)

課程	研究科・専攻	志願者数	受験者数	合格者数
人文学	日本語日文学専攻	0	0	0
	英語英米文学専攻	0	0	0
	応用社会学専攻	1	1	1
	人間科学専攻	4	4	3
	小計	5	5	4
自然科学	物理学専攻	0	0	0
	生命・機能科学専攻	1	1	1
	知能情報学専攻	1	1	1
	小計	2	2	2
社会科学	経営学専攻	3	3	2
フロンティアサイエンス	生命化学専攻	3	3	3
合計		13	13	11

博士後期課程：一般入学試験、社会人入学試験、外国人留学生入学試験

大学院(専門職学位課程)

専攻	志願者数	受験者数	合格者数
法科大学院(法学研究科法務専攻)	167	143	83

法科大学院：一般入学試験、未修者特別選抜

高等学校

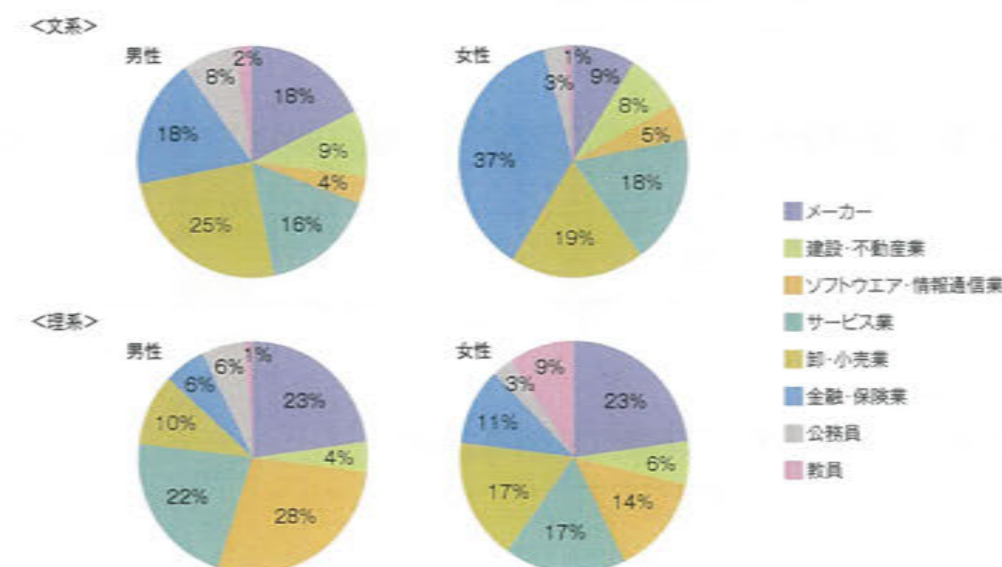
募集形態	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	競争率
普通・文理コース	30	30	25	22	1.2
推薦(上記に含む)	(5)	(5)	(5)	(2)	

中学校

募集形態	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	競争率
I期午前入試	178	174	129	102	1.3
I期午後入試	244	236	143	43	1.7
II期入試	257	117	67	15	1.7
III期入試	126	47	16	7	2.9
甲南小学校	23	23	23	23	-
合計	828	597	378	190	-

大学(学部学生)の就職状況

業種別就職状況



規模別就職状況

従業員数	文系			理系			全体		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
3,000人以上	25%	33%	29%	19%	13%	18%	24%	31%	28%
1,000人以上	24%	20%	22%	26%	26%	26%	24%	21%	23%
500人以上	19%	18%	19%	11%	19%	13%	18%	19%	18%
500人未満	32%	29%	30%	44%	42%	43%	34%	29%	31%

主な就職先

男性

就職先
新日鐵住金株式会社
第一三共株式会社
ハウス食品グループ本社株式会社
プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン (P&G Japan) 株式会社
三菱電機株式会社
ライオン株式会社
ローム株式会社
株式会社竹中工務店
西日本電信電話株式会社
日本通運株式会社
JFE商事株式会社
みずほフィナンシャルグループ
株式会社三井住友銀行
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪国税局
財務省関東財務局

女性

就職先
住友ゴム工業株式会社
日本ハム株式会社
株式会社ファンケル
株式会社竹中工務店
ANAホールディングス株式会社
日本通運株式会社
日本航空株式会社
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
株式会社デサント
株式会社阪急阪神百貨店
オリックス株式会社
株式会社三井住友銀行
株式会社三菱東京UFJ銀行
東京海上日動火災保険株式会社
大阪府庁
神戸市教育委員会

| 学生・生徒数 (平成27年5月1日現在)

大学

学部	入学定員	編入定員	収容定員	実員
文学部	400	10	1,620	1,913
理工学部	155	—	620	721
経済学部	350	—	1,400	1,619
法学部	350	—	1,400	1,663
経営学部	345	—	1,380	1,662
知能情報学部	120	—	480	535
マネジメント創造学部	180	—	720	780
フロンティアサイエンス学部	35	—	140	155
合計	1,935	10	7,760	9,048

高等学校・中学校

学校	入学定員	収容定員	実員
高等学校	200	600	584
中学校	175	525	518

大学院

研究科	課程	入学定員	収容定員	実員	課程	入学定員	収容定員	実員
人文科学研究科	修士	26	52	33	博士後期	10	30	16
自然科学研究科	修士	35	70	77	博士後期	8	24	13
社会科学研究科	修士	20	40	13	博士後期	3	9	6
	専門職	—	30	6	—	—	—	—
フロンティアサイエンス研究科	修士	10	20	21	博士後期	1	3	1
合計		91	212	150		22	66	36

専門職大学院

研究科	入学定員	収容定員	実員
法学研究科	20	96	45
合計	20	96	45

| 卒業生累計数 (平成28年3月31日現在)

7年制高等学校	871
新制高等学校	11,506

学部	98,562
大学院(修士)	2,383
大学院(博士)	99
専門職大学院	587

| 専任教職員数 (平成27年5月1日現在)

大学・大学院・センター・研究所

	文 学 部	理 工 学 部	経 済 学 部	法 学 部	経 営 学 部	知 能 情 報 学 部	創 造 マ ネ ジ メ ン ト	フ ロ ン テ ィ ア サ イ エ ン ス 学 部	フ ロ ン テ ィ ア サ イ エ ン ス 学 部	ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 学 教 育 研 究 セ ン タ ー	セ ン タ ー 教 育 研 究 セ ン タ ー	国 際 語 言 文 化 セ ン タ ー	七 色 の こ え セ ン タ ー	セ ン タ ー 教 育 研 究 セ ン タ ー	国 際 交 流 セ ン タ ー	教 育 研 究 セ ン タ ー	先 進 生 命 工 学 研 究 所	法 学 部	会 計 専 門 職 専 攻 科	学 生 相 談 室	学 長 直 属	合 計
教授	40	22	20	17	24	11	8	8	4	8	0	1	0	2	1	13	8	1	0	0	188	
准教授	9	9	4	5	1	8	7	2	3	4	0	0	1	0	0	0	2	1	0	0	56	
講師	1	3	0	2	0	0	10	3	0	7	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	29	
助教	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	5	
合計	50	36	24	24	25	19	25	14	7	19	0	2	1	2	5	15	9	1	0	0	278	

※実務家教員を含む。

高等学校・中学校

教諭	契約	費課教諭	司書教諭	合計
53	3	1	1	58

職員

専任	嘱託	契約	合計
154	40	14	208

| 事務組織図 (平成28年3月31日現在)

学 園	経営企画室		
	スポーツ強化支援室		
	総務部	総務課 人事課	
	財務部		
	管財部		
	情報システム室		
	広報部	広報課 甲友課	
	学園振興募金室		
	ネットワークキャンパス東京事務所		
	監査部		
	大 学	学長室	
		教務部	
		学生部	
		キャリアセンター事務室	
		図書館・サイバーライブラリ事務室	
		入試事務室	
		教育学習支援センター事務室	
		法科大学院事務室	
		会計専門職専攻事務室	
		文学部事務室	
理工学部・知能情報学部事務室			
経済・法・経営学部合同事務室			
西宮キャンパス事務室			
ポートアイランドキャンパス事務室			
国際言語文化センター・共通教育センター事務室			
スポーツ・健康科学教育研究センター事務室			
国際交流センター事務室			
教職教育センター事務室			
カウンセリングセンター・人間科学研究所事務室			
フロンティア研究推進機構事務室			
高等学校・中学校	高等学校・中学校事務室		